

概要

この通知は、iMPACT の特定バージョンで生成した SVF ファイルを使用して CoolRunner™-II CPLD をプログラムすると問題が生じる場合があることをお知らせするものです。

変更内容

[On-The-Fly Program] および [Erase before programming] をオンにした iMPACT 7.1i (全サービスパック) で生成した SVF ファイルを使用して、CoolRunner-II CPLD ファミリをプログラムすると問題が生じる可能性があります。通常、SVF ファイルは自動テスト装置 (ATE)、またはその他のボード レベルのプログラミング装置 / テスト装置で使用されません。

検証が正常に完了した場合でも、この SVF ファイルは CoolRunner-II CPLD を確実にプログラムするための十分な時間を供給していないため、アプリケーションで正常に機能しない可能性があります。

その他の方法で CoolRunner-II CPLD デバイスをプログラムする場合は問題ありません。また、その他のザイリンクス CPLD ファミリでは問題ありません。

該当製品

[On-The-Fly Program] および [Erase before programming] をオンにした iMPACT 7.1i で生成した SVF ファイルを使用して、CoolRunner-II CPLD ファミリ (全デバイス) をプログラムすると問題が生じる可能性があります。

iMPACT 6.xi (全サービスパック) および 8.1i (8.1.01i および 8.1.02i) で生成したファイルは問題ありません。また、[On-The-Fly Program] をオフにした場合は、iMPACT のいかなるバージョンで生成した SVF ファイルでも問題ありません。

JEDEC ファイルを使用して iMPACT から直接プログラムした場合、および SVF ファイルを使用せずにサードパーティのプログラミング ツールを使用した場合は問題ありません。また、該当する iMPACT バージョンを使用した場合でも、[On-The-Fly Program] オプションをオフにして生成した SVF ファイルは問題ありません。

該当デバイス以外のザイリンクス CPLD ファミリにおいて、この問題は生じません。

トレーサビリティ

iMPACT 7.1i (全サービスパック) で生成した SVF ファイルを使用すると問題が生じる可能性があります。

iMPACT 7.1i (全サービスパック) で生成した SVF ファイルの最初の行には、次のようなコメント文があります。

```
// Created using Xilinx iMPACT Software [ISE Foundation - 7.1i]
```

```
// Created using Xilinx iMPACT Software [ISE Foundation - 7.1.01i]
```

```
// Created using Xilinx iMPACT Software [ISE Foundation - 7.1.02i]
```

```
// Created using Xilinx iMPACT Software [ISE Foundation - 7.1.03i]
```

```
// Created using Xilinx iMPACT Software [ISE Foundation - 7.1.04i]
```

iMPACT 7.1i で生成された SVF ファイルをご使用されている場合は、SVF ファイルの不正を確認致しますので、[ザイリンクス テクニカル サポート](#)までお問い合わせ下さい。

推奨

iMPACT 7.1i の [On-The-Fly Program] オプションをオンにして生成した SVF ファイルを使用してプログラムしたすべての CoolRunner-II CPLD デバイスは、適切な SVF ファイルで再プログラム、またはその他の方法で再プログラムする必要があります。

ご不明な点、ご質問等ございましたら、[ザイリンクス テクニカル サポート](#)までお問い合わせ下さい。

改訂履歴

次の表に、この通知の改訂履歴を示します。

日付	バージョン	変更内容
2006/01/30/	1.0	初版リリース

この通知は、英語版 (XCN06005、バージョン 1.0、2006 年 1 月 30 日発行) を翻訳したものです。